

## 機関誌ユネスコ 10月号を発行しました

機関誌「ユネスコ」2021年10月号（1172号）を発行しました。

本号では、今年度新たに世界遺産に登録された「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」、「北海道・北東北の縄文遺跡群」について特集しています。

また、6月に行われた定時総会で選出された新役員・評議員一覧や、「日本のユネスコ加盟70周年」記念イベントのリストなども掲載しています。ぜひ紙面をご覧ください。

紙面のダウンロードはこちらから↓

<https://www.unesco.or.jp/newsitem/10278/>



2021年10月1日発行(土、日、祝日の1日発行)・B3判(縦書き)1172号

United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization  
国際ユネスコ協会連盟

2021.10  
vol. 1172

【北海道・北東北の縄文遺跡群】の構成遺産の一つ、三内丸山遺跡全景 出典：JOMON ARKIVES (吉森自然教育委員会)

**CONTENTS**

1 特集：新たに登録された日本の世界遺産  
3 ユネスコ活動の広場  
●日本のUNESCO 加盟から70周年  
●新編構成団体役員  
6 活動報告  
●高校生カンボジア オンラインスタディツアー  
●世界キッズ探検隊  
●ユネスコ未来共同プラットフォーム事業  
●ユネスコ協会科学史塾開塾  
●アグサ ユネスコ協会 減災教育プログラム  
9 新役員および評議員の紹介  
●協会・理事会・評議員会報告  
●新編構成団体役員  
11 お知らせ・募集

**日本から新たに2件の世界遺産が登録**

2021年7月16日～31日にオンラインで開催された第44回世界遺産委員会大会<sup>①</sup>にて、日本から申請されていた「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の2件が世界遺産リストに登録された。全体では34件(文化遺産：29件、自然遺産：5件、複合遺産：0件)の世界遺産が新たに誕生し、合計1154件(文化遺産：897件、自然遺産：218件、複合遺産：39件)となった。

一方、世界遺産としての価値が危機的な状況にあるのが危機遺産。ルーマニアの「Ruska Monaria Mining Landscape」が今回、危機遺産リストに登録され、さらに、イギリスの「リヴァプール-海峽都市」が史上3件目となる世界遺産リスト自体からの削除となり、危機遺産は合計52件となった。

① 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年の世界遺産委員会は中止、今回2020年度の審議分を合わせてオンラインで開催された。

きょういくで、あしたへいく。